

例会／理事会2020-08-24 議案
KMT活動の現状と課題

部会活動		活動報告	8/24理事会議決・議論・報告
財政部会		商工会議所広報誌「商工ひのくに」への法人会員呼びかけ掲載準備	「商工ひのくに」への法人会員呼びかけ掲載を理事会決議 〈別紙〉企画書【P3-4】
歴まち部会		カリノー魚屋町ビルでの「歴まちシンポジウム」の開催企画	10月10月実施予定 〈別紙〉企画書【P5-6】
遺産ネット部会		〈仮称〉地域遺産ファンクラブ運営企画	地域遺産ファンクラブ加入のご案内 〈別紙〉ご案内(案)【P7】
※部会運営方式(召集・記録の作成等)			提案書【P9-10】
タスクフォース			
人吉豪雨災害復旧		②7/19KMT12人で作業隊編成し現地入り ③磯田理事登録文化財2温泉旅館の復旧支援	WMF、日本財団への補助申請→派遣費用等の捻出 〈別紙〉人吉市長への提案書【P11-12】 〈別紙〉鉄道遺産取り組み方針【P13-14】
カリノービル		林田印刷・境さんのリクエスト→カリノー検討	
PSオランジュリ		8・9月イベントHumid Japan	〈別紙〉チラシ【P15-16】
清永本店		・活性化を狙ったテナント導入のための補助金切替(県に相談) ・器季家、珈琲回廊との共同イベントの企画	

事務局からの報告

1 2020年度会費納入状況

2020会費納入状況

	一般会員	被連協	合計	金額
個人正会員	27	2	29	150,000
法人正会員	1	0	1	10,000
賛助会員	4	3	7	30,000
寄附者	1	1	2	10,000
合計	33	6	39	200,000

母数60人とする→ (納入率) 65.0%

母数80人とする→ (納入率) 48.8%

2 今年度予算管理(別紙)

収入不足 → 法人会員会費の増強(財政部会)

↓

3 補助金申請(採択・不採択はすべて未定)

経常事業(2020事業計画)に対して=お金をまわそう基金 865,000円
緊急事業(人吉)に対して=①WMF 約100万円
②日本財団 約100万円
③くまもとSDGs財団 約30万円

2020年度（第4期）事業予算案

【収入の部】

項目	金額	備考
受取会費		
正会員	300,000	
賛助会員	30,000	
法人会員	1,500,000	3万円×50社
受取寄付金		
企業		
助成金		
(未確定)	1,000,000	
小計	2,830,000	
うち200,000は達成できた 他は、未達成		
前期繰越金		
負債(借入金)		
前期残余金	681,281	
今期期末繰越金	861,281	

【支出の部】

定款の事業名	2020(令和2)年度事業	事業費
定款第5条(1)特定非営利活動に係る事業(事業費)		▽予算
①歴史文化遺産の顕彰事業		
①-1 まちづくり交流会(イベント)の開催	チラシ、アルバイト人件費	300,000
①-2 まちづくり学習会の開催	講師旅費交通費・謝金	250,000
550,000		
②歴史文化遺産の保存・活用を促進するための事業		
②-1 カリーノ魚屋町ビルの活用(相談、イベント共催等)	資料代	30,000
②-2 PSオランジュリの活用(相談、イベント共催等)	資料代	30,000
②-3 (仮称)文化遺産ネット協議会会員建物の活用(相談等)	資料代、交通費	30,000
②-4 新町古町歴史を活かしたまちづくり支援(県大GP事業等)	資料代、交通費	30,000
②-5 県下各地の歴史を活かしたまちづくり支援	資料代、交通費	60,000
180,000		
③歴史文化遺産の顕彰・保存・活用に関する広報・出版事業		
③-1 ホームページ、facebook、twitterの運営	HP運営費(外注)	80,000
③-2 広報誌の発行	編集印刷製本費	300,000
③-3 (旧)被連協を中心に新町古町の復興アーカイブの作成	調査費、会議費、コピー代	10,000
③-4 ドローンを使った画像記録の制作	ドローン維持管理費	100,000
③-5 他都市の交流会等への参加	参加費・交通・宿泊費	100,000
590,000		
④歴史文化遺産を活用した不動産事業	2020年度は無し	
⑤歴史文化遺産活用のための物品販売・サービス事業	2020年度は無し	
⑥その他当法人の目的を達成するために必要な事業	2020年度は無し	
1,320,000		
一般管理費		
1) 家賃	水光熱費、コピー機使用料等含む	600,000
2) 事務局人件費	前年:571,500	600,000
3) 消耗品費等	前年:約130,000	130,000
1,330,000		
計	2,650,000	2,650,000

財政部会報告

日時：2020年8月12日18時30分～

参加：松波、青木、豊永

1. 甲斐青萍出版会からの支援

・このことについては、現在藤本さんと豊永が相談中であり、お盆明けには吉丸会長に連絡を取る予定。コロナ下でもあり、吉丸さんには、訪問して相談するより、伊藤理事長から電話で相談が良いのでは無いか。との意見もあり。

2. 「商工ひのくに」原稿素案検討

- ・豊永の文案に事務局の意見と、写真を加えた素案を検討
- ・文案の修正を青木氏が行うことになった。

3. 「商工ひのくに」の掲載とは別に、個別に参加を募る企業について検討し、下記の企業をリストアップした。誰が、どの企業に当たるかを、次回の例会で協議することになった。

(法人としての参加を期待する企業案)

- | | |
|-------------|---------------|
| ・長崎次郎書店 | ・出田眼科（出田理事長） |
| ・福田病院 | ・野田市兵衛商店 |
| ・古荘本店 | ・清永宇蔵商店 |
| ・紙広（深浦氏） | ・熊本泌尿器科（野尻院長） |
| ・くまもと経済 | ・求人案内 |
| ・レイメイ藤井 | ・ピュアリー |
| ・塩胡椒 | ・吉田松花堂 |
| ・宮本建設 | ・早川倉庫 |
| ・西嶋コーポレーション | ・東光石油（石原靖也会長） |

3. トラストと地域。トラストの役割についての議論。

○今後企業に対し法人会員としての参加を呼び掛ける場合、トラストが対象とする地域はどこか、当事者でないトラストの役割は何か等の整理が必要。例会で議論する必要がある、との意見が出た。

○具体には以下の意見が出た。

- ・「熊本」とか「城下町」とかの表現は旧府内のみを指す。「熊本」ではなく「くまもと」の方が良いのではないか。
- ・人吉の位置づけはどうなるのか。
- ・人吉市街と、肥薩線の関係はどのように位置づけるか。
- ・トラストは故郷の原風景を護り育てる団体が良いのではないか。
- ・トラストは住民と行政の間をつなぎ、お互いから頼られる存在であるべきでは。他

8/12財政部会での原案→修正案を提案します。青木

NPO法人熊本まちなみトラストに参加しませんか！(ご案内)

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーが集い、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して住民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動を経て、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨で被災された所有者に寄り添い、歴史的建造物の復旧方法について相談に乗る一方で、熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例のパブリックコメントに参加するなどの活動をしています。

私たちは重層的な人々の営みの歴史を現わす歴史ある建物や町並みや風景を、熊本の個性と捉え、この貴重な財産を市民の皆様と一緒に、今と未来の人々のために守り活かす活動を続けていきたいと考えています。このたびは、商工会議所様のご厚意で本誌の紙面を介して皆様に参加の呼びかけをさせていただいております。

どうぞ、私たちの故郷をより良くしていく活動にご参加いただきますようお願い申し上げます。

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤重剛

(活動写真)

子どもたちによりよい環境と故郷の風景を提供したい！

私たちと一緒に考え、活動してみませんか。

1. 歴史まちなみフォーラムの企画決定

別紙のとおり。

※8月19日、吉永誠吾氏が会場でバイオリンの音出しを行ない、良好であると確認された。

2. 今後の日程

8月20日～30日

講演者、パネラーへの演題等の確認

8月24日

トラスト理事会例会

8月31日 熊日新聞への寄稿。

熊本市の「歴史まちづくり計画」(仮題) 字数1000字

執筆担当 伊藤重剛 締め切り 8月31日

8月31日

チラシ作成 (印刷せず、PDFファイルで送信または、プリントして配布)

A4サイズ片面 パネラープロフィール、住友銀行写真

担当 事務局

※パネラー・講演者の略歴1000字と、顔写真を集める。

9月25日

歴まち部会 当日用最終打合せ 各担当者確認 場所 パレアルーム 18:30

会場設営

机・椅子、プロジェクター(2台)、レーザーポインター(2本、イルジ、伊藤)

広報・記録 担当：事務局

マスコミ用ブリーフィング、

写真撮影、報告書作成、PDFにしてホームページで配布。

動画は撮らない。

10月10日

会場設営 11時、後片付け 5時

詳細は、9月25日に決める。

確認必要事項

会場で使う机・椅子、マイク設備等をカーリーノから借りれるか。→ 伊藤(田中さん)

講演者のプロフィール、顔写真の収集 → 竹田、イルジ、伊藤(各パネラーへ)

マイク設備を市役所から借りれるか → 伊藤(酒井さんへ)

趣旨

熊本市ではこの6月、歴史まちづくり法に基づく「歴史まちづくり計画」が策定されました。これは先の熊本地震により、多くの歴史的建築が存続の危機に瀕したのを契機に、熊本市が建築や他の歴史的遺産を保存活用しながら熊本のまちづくりを進めようとする計画です。私たちはこのフォーラムにより、この計画の内容を市民県民に広く知っていただき、市民と行政が協働して行なう未来の熊本のまちづくりの先駆けとしたいと思います。

名称 「熊本の未来を語る—歴史まちづくりフォーラム」
主催 NPO 法人熊本まちなみトラスト・株式会社カーリーノ
日時 10月10日（土曜日）、1時半～5時。
場所 カーリーノ魚屋町ビル（旧住友銀行熊本支店）

プログラム

- 13:30 開会（総合司会 竹田宏司副理事長）
挨拶 伊藤重剛理事長
挨拶 馬場英治（カーリーノ株式会社 代表取締役社長）
- 13:40 ミニコンサート（30分）
吉永誠吾氏（バイオリニスト・熊本大学名誉教授）+キーボード
- 14:10 10分休憩・会場設営
- 14:20 講演「熊本市歴史まちづくり計画」 20分
酒井伸二（熊本市都市整備景観課 都市デザイン室長） 20分
- 14:40 講演・パネル 10分+質疑5分（ファシリテータ 鄭一止(ジョン・イルジ)副理事長）
「新町・古町の熊本地震からの復興に携わって（仮）」
宮本茂史（宮本建設株 代表取締役社長）
「川尻の歴史的まちづくり（仮）」
吉村謙太郎（瑞鷹株 取締役副社長）
「祭礼とまちづくり」
竹原明理（熊本市立熊本博物館 学芸員）
「新しい若者の町—新町と古町（仮）」
村井隆太（珈琲回廊オーナー）
- 15:40 ディスカッション
- 16:30 終了・片付け

※3密にならぬよう、参加人数（50～80人）の調整、会場内の配置、マスク着用等に十分配慮する。

※パネラーの講演だけにならぬよう留意し、ディスカッションの時間を十分取るよう配慮する。

※会場で、珈琲回廊にコーヒーのテイクアウト販売をしよう。

地域遺産ファンクラブへの加入のご案内

NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤 重剛

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーが集い、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して住民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動を経て、平成28年熊本地震と令和2年7月豪雨で被災された所有者に寄り添い、歴史的建造物の復旧方法について相談に乗る一方で、熊本市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例のパブリックコメントに参加するなどの活動をしています。

このたびは、それぞれの地域で受け継いできた有形・無形の遺産のファンを増やすとともに次世代に継承し、未来への希望をはぐくむことを目的に、地域遺産ファンクラブを設立しましたのでご案内申し上げます。

地域遺産ファンクラブは、地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」活動を通じ、地域の歴史ある景観や景観を形作る建物などを、所有者の皆様と一緒に楽しく触れ合い、仲良く守っていきたいと考えています。

活動の幅を広げていくために、ぜひとも活動にご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 団体名：地域遺産ファンクラブ
- 2 目的：地域の遺産のファンを増やすとともに次世代に継承し、未来への希望をはぐくむ
- 3 活動：地域の遺産を「見つける・楽しむ・広める」
- 4 活動イメージ
 - (1) 地域の遺産の所有者の皆様との交流会等を通じて連携を強め、必要に応じて一緒に考え、行動する。
 - (2) 見学会やまち歩き、シンポジウムなど、地域の遺産に思いを寄せる人たちと一緒に遺産と触れ合い楽しむ機会を作る。
- 5 会費：年度会費は千円/人(ただし令和2年度のみ令和3年度末まで有効)。
※会計と庶務等のお世話はNPO法人熊本まちなみトラストが担い、クラブ固有の特別会計をもって独立した会計にします。なお、予算及び支出は年度ごとの会計を報告します。
※NPO法人熊本まちなみトラストの会員は会費支払いをもってクラブに加入することができます。
お問い合わせ先：NPO法人熊本まちなみトラスト(青木)blue.moon.19690116@gmail.com

被災文化遺産所有者等連絡協議会の活動経緯

	2016(平成28年)	2017(平成29年)	2018(平成30年)	2019(平成31年／令和元年)	2020(令和2年)
熊本地震★4/14・16					
被災協 (協議会)	10/14○ 11/19◎ 設立準備会 設立総会	◎2/9 10/5◎ アレックス・カー講演会 協議会(県・市オプザバー参加) ◎4/14 協議会「モノづくりの作法」シンポジウム		●解散に関するアンケート調査 6月……………10月	
県市への相談・要望・陳情	◇1/16 市議会 ◇1/20 市議会議長 副市長 ◇2/20 市議会へ請願 ◆10/24 市長への要望書(歴史まちづくり計画の策定等)※	◇1/16 市議会 ◇1/20 市議会議長 副市長 ◇2/20 市議会へ請願 ◆10/24 市長への要望書(歴史まちづくり計画の策定等)※			※歴史まちづくり計画 パブコム締切◆2/6 →6/24国の認定
県市の対応	◇1/19 小野副知事相談→知事・議長へ要望書 6/15県議会議長面談	◆2/15 ◆4/18幹事会で説明……………適用本格化 文化財復旧復興基金を活用した補助制度創設を公表			※保存活用条例 パブコム締切◆4/28→6月制定
協議会幹事会	11/11第1回				
清永部会	①②……………22	8/23第1回 ①②③……………121			3/31第121回
関連した動き 会員の動向		8月●N.H.ピュアライフ復旧工完了 2月●塩胡椒復旧工完了 12月●しほりや復旧工完了 8月●兵庫屋復旧工完了 6月■森本表具店解体 7月■鈴木邸解体 7/4○グループ補助金城下町立寄り処第1回打合せ 5/12○日本イコモス緊急アピール文 7/22○建築学会等4団体提言	黒瀬商店復旧工完了●1月 野田市兵衛復旧工完了●1月 3月●西村邸復旧工完了 12月●金岡仏具店復旧工完了 8月●後藤商店消失 11月■安田ふとん店解体	9月●PSオランジュリ復旧工完了 3月●西村邸復旧工完了 10月●珈琲回廊復旧工完了	3月●清永本店復旧工完了

会員(オーナー)

新町古町地区

- 清永幸男
- 吉田季代
- 鈴木婦美子
- 岩原和哉
- 西村正代
- 東久美子
- 後藤環
- 北野淳一郎
- 森本志郎
- 安田憲世
- 宮本茂弘
- 八木啓介
- 大住裕司
- 渡邊稔晃
- 野田珠美
- 白石一成
- 早川礼三
- 黒瀬雅之
- 益雪敏昭
- 平山武久
- 反後人美
- 米村孝一
- 長崎圭作
- 櫻井栄一
- 上村元三
- 吉村浩平
- 堀尾太治郎
- 村田幸博
- 財津真一
- 志摩敏元
- 古川保
- 中西弘一
- 森川真由美
- 林憲一

川尻地区

- 毛利秀士
- 松田清見
- 矢野和之
- 伊藤重剛
- 磯田柱史
- 吉野徹朗
- 富士川一裕

世話役

(3号会員)

△決議に参加しない

【 部会、タスクフォース運営方式の整備 】

この間の「財政」「歴まち」「遺産ネット」という部会組織の整備に加えて、人吉タスクフォース、肥薩線プロジェクトなどの応急的課題対応が発生する中、これらの組織の運営方式を整理・統一し、組織運営の持続可能性を確保することが必要になってきている。

1. 従来の方式の限界、制度整備の必要性

従来は全ての会合やイベントの企画、推進、段取り、進行、記録、広報を事務局が担当してきた。活動が多様化し、部会が新設されるにつれて、課題が見えてきた。

- 1) 課題の選定や定例会への提案の仕方は事務局の判断で行われてきた。このため、新たに運営会議を設置し、定例会やイベントの運営方針を確認することとしている。
- 2) 部会の運営方式を定例会やイベントと同じように考えてしまうと、事務局の負荷が過大になるだけでなく、部会の自立性や課題の推進母体としてのエネルギーが涵養されにくい。
- 3) 部会によっては部会の開催の段取りや配布資料の準備、議事録の発行などが自然と部会長を中心に進むこともあるが、ありようは部会によって相違があり、事務局内部でも取り扱いに混乱が生じる場合がある。
- 4) 豪雨災害の発生により、全ての活動に事務局の誰かが必ず参加できるという保証が難しくなっており、事務局が常に現状を把握したうえで組織を運営することが現実的ではなくなってきた。

2. 部会、タスクフォース、プロジェクトなどの運営と例会・総会運営の相違について

総会や定例会は組織としての意思決定機関であり、課題についての自由な検討・討議の場である。一方で部会は実行部隊である。目的の達成のために課題を検討し、方針案を作成し、例会での承認を得て他の組織との連携も図りながら運動を推進していく。基本的に自己完結的に動くことが求められるし、それが可能であることが望ましい。

従ってグループを超えての活動が必要とならない限り、事務局の関与は不要であるはずである。もちろん、事務局機能のうちの大量の資料の準備や会計、広報などは共通機能として利用されるべきである。

3. 部会、タスクフォース、プロジェクトなどの運営方式

- 1) 定例会において新たな部会、タスクフォース、プロジェクト（グループと呼ぶ）の設置が決まり、メンバーが特定されると、事務局が段取りをして初回の会合を開き、①リーダー、②事務担当、③運営方針などを検討し、次回の定例会、もしくは三役会議の承認を経てグループ活動を開始する。
- 2) グループ事務局は下記のような管理表を利用して、必要な事項の抽出を行い、タイムラインを設定



し、進行管理を行う。

G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	AA	AB	AC	AD	AE	AF
開始日	完了日	責任者	事業名称	課題検索	調査	資料収集	課題検討	課題設定	承認承認	資料作成	会場設定	日時決定	許可取得	資源調達											
7/9			第18回定例会/理事会	7/11	7/17	7/17	7/18	7/18	7/18	7/22	-	-	-	7/20											

AI	AJ	AK	AL	AM	AN	AO	AP	AQ	AR	AS	AT	AU	AV	AW	AX	AY	AZ	BA	BB	BC	BD	BE	BF	BG	BH
広報	総務	平野招待	準備作業	事業開催	事業記録	議事作成	議事報告	議事広報	会計	会計報告	資料調達	記録保管													
7/13	7/13	7/13		7/23	7/23	7/24	7/25	7/30	7/25	-	-	8/1													

- 3) 理事会、もしくは三役の承認が必要な事項については理事会に予算を含む推進案と回答納期を提出する。事務局は必要な承認が得られるよう支援する。
- 4) グループ内でのすべての連絡は運営会議と事務局に cc. で情報を共有する。
- 5) イベントなどの実施、広報、大量もしくは上質な印刷物の作成、対外広報などについてはグループ会議に事務局を招聘し、検討の上分担を決定する。
- 6) 経費の精算は少なくとも毎月の定例会の10日前には終えるものとするが、事務局にて随時の精算も可。
- 7) 同様に毎月の活動については定例会の10日前までに報告書を事務局に提出する。事務局は定例会の1週間前の運営会議にて内容の確認を得、定例会の議案に反映させる。

以上

令和2年(2020年)9月4日

人吉市長 松岡 隼人 様

提案者 NPO法人熊本まちなみトラスト 理事長 伊藤 重剛
提案に賛同します 人吉温泉女将の会「さくら会」会長 有村 政代
鍛冶屋町通りの街なみ保存と活性化を計る会 会長 立山茂
人吉球磨ヘリテージマネージャーの会 代表 久保田貴紀
日本イコモス国内委員会 委員長 岡田 保良
ワールド・モニュメント財団 日本代表 稲垣 光彦

人吉市中心市街地の復興に向けたまちづくりに関する要望書

本年7月4日の球磨川水系の氾濫によって人吉市をはじめ球磨郡各町村が壊滅的な被害を蒙られましたことに衷心よりお見舞い申し上げます。併せて、コロナ禍にあっても被災住民の皆様のために復旧に携わっておられる皆様に心から敬意を表します。

私たちNPO法人熊本まちなみトラストは、建築、都市計画、文化財保護、ジャーナリスト等の専門家を含むメンバーで、「記憶の継承」を理念に町並み保存や歴史的建造物の保存などを通して住民の皆様を支援する団体です。任意団体での長い活動歴を経て、熊本地震での復興支援のためにNPO法人になりました。

このたびは、人吉市の中心市街地の被災状況を調査するとともに国登録有形文化財の温泉旅館や木造公衆浴場などの地域を象徴する歴史ある建造物の復旧を支援しながら、技術的な復旧方法や応急措置について所有者に寄り添いながら相談にのっています。

その結果として、次2項を要望いたします。

1. 復興事業に「歴史を活かしたまちづくり」という目標を掲げて取り組んでいただきたい。
2. 復旧活動に携わる所有者や施工者等市民に対し、「歴史を活かしたまちづくり」という目標を共有し、肯定し、応援していただきたい。



図1. 復興まちづくりの目標

要望の理由：被災前よりも街の個性が輝くような「復興まちづくり」が進められる

大災害からの復旧には様々な制度が適用され、事業化されます。

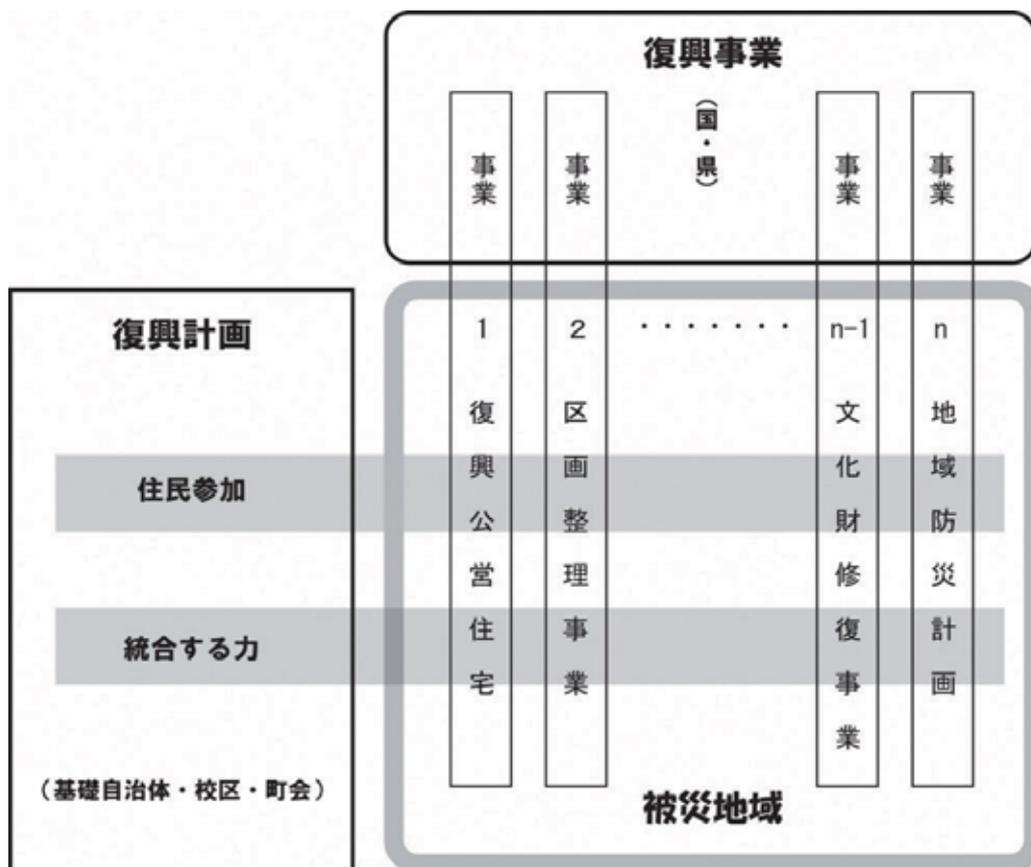
下図(図 2)は 2011 年東日本大震災での復興の状況をまとめたものです。被災地には数多くの事業が投入されますが、将来の目標像が定まらなると復興に向けて注力しにくいという、復興ののちに街の個性が持続されません。

2016 年熊本地震で、私たち熊本まちなみトラストは「熊本城は残っても城下町が消失するかもしれない」という危機感から「城下町の再生」を復興まちづくりの目標として共有しながら個別の復旧事業のお手伝いをしました。

このたび令和 2 年 7 月豪雨での人吉市の復興では、それぞれの復興事業が復興後の個性あるまちづくりにつながり、かつ相乗効果を高めながら推進されることが望まれます。

復興計画は行政が住民の利益のために立案するものですが、市民や民間事業者が思い思いに描く復興計画も含めて「復興まちづくり」と呼ぶとすれば、『歴史を活かしたまちづくり』は、官民共に関わる皆様が共有するにふさわしい目標であると思います。

前頁の図1でお示した中心市街地の特徴を踏まえた将来像を語ることで、人々の記憶をつなぎ希望を育む場所を具体的に思い描くことができ、共有できる将来像が見えると考えます。



被災地域住民の声：「個別の事業の説明はあるが、いったい私たちの地域は全体としてどのようなようになるのかが見えない」、「移転が残るかと思われる地域が将来どうなるのかわからないので判断ができない」

復興計画が住民不在になっていないか。
復興計画の策定主体に、統合する力（努力）が欠けているのではないか

図 2. 復興事業と復興計画(東日本大震災の後)

肥薩線復旧要望打ち合せ-第1回-記録

2020年8月22日(土) 18:30~20:30 @パレア10階 第7会議室

出席者：幸田亮一、磯田桂史、磯田節子、田中尚人、竹田宏司、辻泰明、伊藤重剛、豊永信博、チョン・イルジ、西嶋真理子、松波大仁、富士川一裕(記録)

1. 本日会合の趣旨(幸田)

レジュメに沿って

①要望内容 ②復旧に当たっての要望 ③要望先 ④要望団体 ⑤要望時期

参考資料概要

松本晋一著※「球磨川の駅・ものがたり」 ※人吉で歯科医師/熊本産業遺産研究会会長

2. 被災状況(画像で確認)

(1) 磯田節子理事

①肥薩線坂本駅【八代市坂本町】と周辺/ →葉木駅→◆鶴の湯旅館→鎌瀬駅
→球磨川第一橋梁 M41 竣工/2 連トラスト 3 連桁橋★崩落 →瀬戸石駅

(2) 辻泰明理事

①白石(しろいし) 駅【芦北町】M41/神瀬集落/かさ上げして建てられた建物の1階天井まで浸水が達した/佐敷駅 T14 少し高地にあり被害受けなかったため災害復旧の拠点になっていた/武徳殿 S12<登録文化財>

②球泉洞駅【球磨村】

③一勝地駅【球磨村】 → 第二球磨川橋梁 M41 竣工/2 連トラスト+桁橋★崩落

④渡駅【球磨村】駅舎は商工会が利用/7:38を針がさして止まっている壁掛け時計

⑤人吉駅【人吉市】

西瀬橋(道路橋)は落ちたワンスパンを復旧させて9月4日開通予定

球磨川第三橋梁(球磨川鉄橋の中で最上流に架かる肥薩線3番目の橋梁/2 連トラスト 3 連桁橋/旧橋は M41 造だったが S52 に交換) ★残存

3. 被害状況の確認/報道に見る当局の考え

(1) 新聞報道等

- ①球磨川鉄道湯の前線は復旧費の97.5%を国が負担※、3セク・くま川鉄道は負担ナシで
※この方式は、熊本地震の後高森線の復旧に適用、後に恒久化
- ②川辺川ダムの再燃も。「ダムには反対だが、同じ場所に今まで通りの街をつくり直すだけで良いのか。行政が一刻も早く治水のあり方を示さないと、街の復興の入口にすら立てない。」という被災者の声。N2020-07-22
- ③鉄道O Bら肥薩線などの復旧を人吉市長に要望 2020/08/22 K
- ④東日本大震災後の大船渡線、気仙沼線は復旧費が多額になることから BRT（Bus Rapid Transit／バス高速輸送システム）を導入。

（2）我々の認識

- ①被害はきわめて甚大。肥薩線の既存ルートでの復旧は困難なことも予想される。仮に復旧予算が獲得されても既存ルートではない新線になる可能性もある。そうなるとトンネル、橋梁、駅舎などの鉄道遺産の現有機能を伴う救出は困難になる。
- ②現有機能を伴わない遺産の保存活用は可能なのか？【最悪のシナリオ】
→長六橋、月星、上熊本駅舎の例 →橋梁を川から引き上げオブジェとして保存／可能であれば新線の一部に利活用 →トンネルも含めサイクリングロードとして活用（耶馬溪鉄道遺産の例）
- ③肥薩線の価値は日本の近代化の足跡をたどり得る生き証人であり世界鉄道史まれに見る貴重な遺産である。遺産の価値を可能な限り保持しながら復旧すべきである。【望ましいシナリオ】

4. 対応方針（フラッシュアイデア）

（事後、記録者の追記含む）

- ①まずは、肥薩線の文化的価値と豪雨災害による損失の重大さを記述する。
「肥薩線の近代化遺産」執筆者の責務かもしれない（余人をもって替えがたいから）・・・
- ②要望内容は、肥薩線の文化的価値を尊重して復旧に当たっていただきたい・・・という抽象的になるかもしれない。
- ③要望先は、レジュメではJR九州と人吉市長となっているが、熊本県や国交省もありうるか？
- ④次回会合までに当局に当たってみる 幸田→JR 田中→国交省、熊本県
- ⑤球磨川鉄道湯の前線は残りそうだから、こちらの遺産の保存活用を訴えるのも一つの方法。



Open Orangerie

真夏の PS オランジュリ

Humid Japan

～日本の湿度を知っていますか？～

九州の気候を知り、室内の気候をデザインする。
“快適と安心のオーダーメイド”を体感してください。

<開館日>

8月・9月

毎週 木・金・土 曜日

10時～ / 14時～

ご予約 096-356-2201

Mail ps-tanaka@psk.co.jp

各回、1組ずつのご予約制となっております。
必ずお電話でご予約の上、御来館ください。

新型コロナウイルスにおける感染症対策は別紙をご覧ください。



九州情報センター PS オランジュリ

☎ 096-356-2201

〒860-0028 熊本市中央区中唐人町1番地

ホームページ <https://ps-group.co.jp>

北海道 | 盛岡 | 仙台 | 新潟 | 東京 | 長野 | 名古屋 | 大阪 | 福岡 | 熊本



空気のデザインと感染症対策



昨今、新型コロナウイルスによる感染拡大は目を見張るものがあります。ピーエスは温度と湿度の専門メーカーとして、

感染症対策のための空気のデザインが必要だと考えます。

まずは、快適さを保ちつつ、十分な換気ができることが重要です。

館内の空気は、ラジエータ式の除湿型放射冷暖房 PSHR・C によって

ゆるやかに自然環境とリンクしながら快適さを保っています。

夏場は、ラジエータの中に15度程度の冷水を常時循環させ、

その放射によって、館内を静かに優しく冷やしています。

放射とは、例えばおひさまの温かさ、トンネルの中の涼しさです。

夏場は、放射によって建物の中の床や壁を蓄冷するため、

換気の際に室内の温度が急激に変化しにくいのが特徴です。

クーラーなどによる冷風によって室内を涼しくしている場合、

換気すると一気に室温が上がってしまいます。

反面、放射による冷房は空気を自由に扱うことができます。

つまり、PSHR・Cと館内の床や壁全体からの優しい放射に包まれながら、

たくさん新鮮空気を得ることが可能なのです。

また、放射による冷房は空気を掻き回さないので、

不用意に菌やウイルスを室内に撒き散らすこともありません。

館内はPSHR・Cの結露によるナチュラルな除湿により、

余分な湿気を取り除いてくれます。

二十年前にエコリノベーションしたピーエスオランジュリ。

その空気のデザインは、

「人間にとって快適で活動的な室内気候」でありながら、

昨今の大きなニーズでもある「感染症対策」にも有効です。

Welcome to
PS Orangerie!!

ピーエスオランジュリの新しい空間

九州は食材の宝庫です。

九州の美味しい食材を九州の気候の中で

美味しく貯蔵するための新しい空間作りをはじめました。

ご来館の方にはこちらも少しだけご案内させていただきます。



九州情報センター PS オランジュリ

☎ 096-356-2201

〒860-0028 熊本市中央区中唐人町1番地

ホームページ <https://ps-group.co.jp>

北海道 | 盛岡 | 仙台 | 新潟 | 東京 | 長野 | 名古屋 | 大阪 | 福岡 | 熊本

